

学報

聖隷クリストファー大学

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

2019.12
Vol.54

特集

聖灯祭&ホームカミングデー

先輩に聞け! 私たちの

国家試験合格ストーリー / 就職・進学支援

聖隷クリストファー生の 専門学校生の

日常図鑑 聖隷ライフ

クリストファーニュース / 専門学校生の就活体験記

聖隷学園だより / 私の教育・研究 / 後援会から



聖書のことば

わたしは、こう祈ります。知る力と見抜く力とを身に着けて、あなたがたの愛がますます豊かになり、本当に重要なことを見分けられるように。そして、キリストの日に備えて、清い者、とがめられるところのない者となり、イエス・キリストによって与えられる義の実をあふれるほどに受けて、神の栄光と誉れとをたたえることができるように。

フィリピの信徒への手紙 1章9-11節

『広辞苑』にも掲載されている「目から鱗」と言う言葉。その由来は、新約聖書の使徒言行録9章18節に見ることができます。かつて、イエスの教えに従う人々を迫害していたユダヤ教指導者サウロ(パウロ)は、ダマスコへの途上で天からの光に照らされて、目が見えなくなってしまう。懊悩煩悶する中、イエスの弟子アナニアの訪問をとおして助けられ、なんとサウロの目から鱗のようなものが落ち、見えるようになったとあります。KJV(欽定訳聖書)は鱗という語にscale(s)を用いています。この言葉には、目のくもりやかすみ、物差し、また人や物を評価するなどの意味があります。

私たちは自分の経験を通して、無意識の内に様々な価値観を身に着け、それらに基づいて事柄を処理していきます。諺語に「目は毫毛を見るも睫を見ず」とあるように、私たちは自分の目にある梁に気付くことができず、つい自分の目を過信してしまうのです。



迫害者からイエス・キリストの福音を宣べ伝える者へと生まれ変わる経験をしたパウロは、フィリピの教会の人々に「知る力と見抜く力とを身に着けて…本当に重要なことを見分けられるように」と願いながら筆を執りました。パウロは単なる知識や道徳的な事柄を言うのではなく、あなたがたの「愛がますます豊かになる」ために、識別する力を身に着けるようにと祈るのです。

「知識は人を高ぶらせますが、愛は人の徳を建てます。(コリントの信徒への手紙一8章1節新改訳)」さらに、神の愛は、「打ち砕かれて、へりくだる霊の人に命を得させてくださる(イザヤ書57章15節)」のです。神の愛を知る鋭敏な感性を培うことができますように。

ながい えいじ
聖隷学園宗教主任 永井 英司

社会福祉学部の学科再編について

社会福祉学部介護福祉学科は定員の充足状況をふまえて2020年度より学生募集を停止することとなりました。新年度の社会福祉学部入学生は社会福祉学科とこども教育福祉学科の2学科で学びます。2学科体制のもと、新しい社会福祉学科には現在の社会福祉学科を母体と

するソーシャルワークコースと現在の介護福祉学科を母体とする介護福祉コースの2コースを置き、引き続き社会福祉士、介護福祉士、精神保健福祉士を養成します。学科再編後も現在の介護福祉学科は在學生の方が卒業するまで存続します。また在學生の方の学びの内容には

変更がありません。

社会福祉学部では今後も、生涯にわたり成長し続ける専門職者として、人とふれあい、自分を見つめ、「生命の尊厳と隣人愛」を土台とした幅広い知識と技術を学ぶことを大切にしていきます。

看護技術の総まとめ【統合演習】高機能シミュレーターが活躍

「統合演習」は、4年次生が臨地実習を終えた後に看護技術の総まとめを行う科目です。多様な看護場面において重要な病態の変化を包括的にいち早くアセスメントする基本的な能力を身につけることを目指しています。先日は病室を模した状況下で高機能シミュレーターが患

者役となり、容態が急変した場面での対応を学修しました。学生はグループで意

見交換しながら急変時の場面を実際に経験することで学びを深めました。



2019年度 同窓会in東京 を開催しました

9月14日、東京で同窓会を開催しました。昨年度の神戸開催に続き、静岡以外での開催は3回目、東京での開催は2回目となります。

当日は関東地方にお住まいの方を中心に、同窓生24名にご参加いただきました。参加くださった同窓生の皆様お1人ずつから自己紹介をしていただき、それぞれの場所でご活躍されている様子を伺

いました。同窓会からは、紅谷純会長から挨拶のほか将来的に関東地区での支部設立を視野に入れていることなどについて、顧問の大城昌平学長から大学の現状と今後の将来構想などについて説明をしました。

今後も同窓生同士、大学と同窓生など、さまざまな交流機会を学内外で継続的に作り、卒業後も専門職者として活躍

できるよう支援し、保健医療福祉の質の向上に貢献していきます。



中山大學附属第一病院(中国)と交流協定を締結しました

9月23日、本学と中山大學附属第一病院(中国/広東省広州市)は交流協定を締結しました。中山大學にて開催された調印式には大城昌平学長が出席し、中山大學附属第一病院のQi Shaohai 副病院長と共に協定書にサインを交わしました。また、今後の連携についてXiao Haipeng同病院長とも会談を行いました。中山大學は1924年設立の60以上の学部がある国立総合大学です。中山大學附属第一病院は中山大學に直属し、高度医療、研究活動を行うとともに、教育組織としても看護やリハビリテーションに

関する教育も担当しています。今後、学生・教員の相互交流や研究活動を通して活発な交流活動を展開していく予定です。



大城昌平学長(左)、Xiao Haipeng病院長(右)

交流協定締結校一覧

中国	陸軍軍医大学
	中山大學
シンガポール	ナンヤン理工學院
	シンガポール工科大学
アメリカ	サミュエルメリット大学
	シアトルパシフィック大学
	モンタナ大学
	ハワイ大学
オーストラリア	イーデス・コーワン大学

第18回
聖灯祭
2019.11.02(土)
16:00~18:00

聖灯祭 テーマ「^{いろいろ}彩 #令和最初の聖灯祭」

聖灯祭実行委員長

いとう そうま

伊藤 蒼馬さん

リハビリテーション学部
理学療法学科 2年次生



皆様のご協力を賜りまして、今年の聖灯祭も無事に終了することができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。本当にありがとうございました。今年の聖灯祭も野外ステージに力を入れ、素晴らしいゲストの方々をお迎えし、盛大に開催することができました。模擬店の数も例年よりとても多く、各団体が創意工夫を凝らしたお店を出店しました。学内では、各学部学科の健康祭やサークルによる展示、ステージ発表、近隣施設の方の作品展があり、例年以上の盛り上がりを見せました。来年度も、より多くの方に楽しんでいただけるよう反省と改善をしていきたいと思っております。これからも聖灯祭実行委員会の活動にご協力のほどよろしくお願いたします。



健康祭・子育てひろば

看護学部・リハビリテーション学部各学科は、学びの特色が活かされたブースを設けた「健康祭」を開催しました。

社会福祉学部こども教育福祉学は、地域のお子様と保護者の方を対



理学療法学科健康祭



言語聴覚学科健康祭

模擬店・サークル発表など

各サークルや有志の学生による出店のほか、多くの社会福祉施設による「ふくし楽市」が開かれ、大盛況でした。野外特設ステージではダンスや演奏、コントなどの発表、各教室では茶道サークルによるお茶会や美術サークルの作品展、高齢者や障がいがある方たちが製作した絵画や手工芸品の展示などがありました。



模擬店



茶道サークル



ホームカミングデー

第13回目となるホームカミングデーを聖灯祭と同日で開催しました。ホームカミングデーは、短期大学、ヘルパー学園、専門学校、大学学部・大学院すべての卒業生・修了生の皆様に母校に戻り、本学の現在の様子を知っていただき、実践や研究・研修の拠り所として、また保健医療福祉の最新情報や人材情報の交換拠点として母校を活用していただきたい、そして同窓生や先輩・後輩と旧交を温め、教職員と交流していただきたいと考え開催しています。大学にてウェルカムセレモニーや勉強会・交流会などを行ったのち、会場をオークラアクティシティホテル浜松に移しパーティを行いました。今年は245名の卒業生・修了生がお越しくださいました。



看護学部健康祭

科が主催した「子育てひろば」で象としたイベントを開催しました。



作業療法学科健康祭



こども教育福祉学科
子育てひろばたっくん



ハンドベルサークル



軽音サークルライブ



ダンスサークル



ウェルカムセレモニー



パーティ

領域ごとの勉強会・交流会

看護系、社会福祉系、リハビリテーション系の領域ごとに分かれて開催した勉強会・交流会では、それぞれにテーマを設け、学年・世代を超えた様々な意見交換・交流を行いました。



看護系



社会福祉系



リハビリテーション系

ホームカミングデー2019 実行委員長

もりた よしひろ

守田 芳寛さん

聖隷学園浜松衛生短期大学

第一衛生看護学科 1979年度卒業



2019年度のホームカミングデーにご参加いただいた皆様、そして準備・運営にご協力いただいた皆様に、改めて感謝御礼申し上げます。母校を卒業後40年の間に、これほどまでに医療・福祉人材の裾野が広がるとは想像しておりませんでしたし、長谷川理事長、大城学長のビジョンを伺い、さらなる人材育成に歩んでいく姿を知ることができました。聖隷学園を核とした人のつながりが、今後益々発展していくことを期待します。

就職・進学支援

速報

2019年度卒業・修了予定者の内定状況

2019年度に卒業・修了する学生のうち、就職希望者は340名、2019年11月18日時点で内定が決まった学生は275名、内定率は80.9%です。その他、助産学専攻科などへ進学が決まった学生は11名です。

社会福祉学科の医療ソーシャルワーカー、精神科ソシヤ

ルワーカーを希望している学生やリハビリテーション学部の学生は、秋以降に選考が本格化するため、現在、採用選考の途中で結果を待っていたり、これから採用試験を受験するところです。

(2019年11月29日時点)

	卒業・修了 予定者数 (名)	進学 決定者数 (名)	就職 希望者数 (名)	就職 内定者数 (名)	就職 内定率 (%)
看護学部	156	10	146	144	98.6
助産学専攻科	17	0	17	17	100
社会福祉 学部	社会福祉学科	37	0	36	63.9
	介護福祉学科	6	0	6	100
	こども教育福祉学科	32	1	31	77.4
リハビリ テーション 学部	理学療法学科	44	0	44	63.6
	作業療法学科	32	0	32	71.9
	言語聴覚学科	28	0	28	35.7
大学計	352	11	340	275	80.9

2019年度 求人情報について

本学に届いた求人票の求人数です。届いた採用情報は、キャリア支援センターのホームページのほか、登録者に対して配信される「求人情報配信システム」によりお知らせしています。

保護者の皆様もご登録いただくことができます。情報提供を希望される方は、WEBキャリア支援センター(<https://www.seirei.ac.jp/webcareer/>)の「求人情報

配信システムへ登録」からご登録ください。

また、病院・施設などの採用試験や大学院・専攻科などの入学試験を終えた学生が記入した報告書をキャリア支援センターのホームページ(<https://blg.seirei.ac.jp/ssk/>)で閲覧いただけます。但し、ログインにはIDとパスワードが必要となりますので、ご希望の方はキャリア支援センターまでメールにてご連絡ください。

(2019年11月29日時点)

職種	全国	静岡県・愛知県東三河
看護職	12,528名	1,553名
福祉職・介護職	3,875名	952名
保育教諭・幼稚園教諭・保育士	4,237名	570名
理学療法士	2,451名	204名
作業療法士	2,350名	196名
言語聴覚士	1,204名	111名

お問い合わせ先

聖隷クリストファー大学
キャリア支援センター
TEL:053-436-7233
FAX:053-437-6782
E-mail:career@seirei.ac.jp
<https://blg.seirei.ac.jp/ssk/>

大学院への進学について

聖隷クリストファー大学大学院は、看護学、リハビリテーション科学、社会福祉学の博士前期課程・後期課程として、それぞれの学問分野の教育・研究の一貫性を強化し、高度かつ専門的な学識と研究能力および人間性を備えた、広く人々のニーズに応えうる、そして世界に通用する高度専門

職業人の育成を目指しています。

大学卒業後すぐに専門性に磨きをかけるため進学することもできますし、卒業後に専門職者として働きながら学ぶこともできます。

先輩に聞け! 私たちの 国家試験合格ストーリー

国家試験に合格するためにどのような勉強をしたのか、先輩たちに語っていただきました。

話を聞いてくれたことが不安を和らげてくれた

私は国家試験対策として、模試と過去問をレビューブックなどを用いて復習していました。なぜそうなるのか、根拠を大事にして勉強することで少しずつ理解を深めることができるようになったと思います。しかし、どれだけ勉強しても不安は増していくばかりでした。私は不安を口に出すことが多かったのですが、家族が聞いてくれることで気持ちが和らぎ、最後まで頑張ることができました。受験生の親御さんは、お子様の話を聞いてあげてください。それだけでも十分な力になります。現在は力になってくださった方々に感謝しながら、日々楽しく働かせていただいています。

のなか たくや
野中 拓弥さん

- 勤務先：聖隷保健事業部
 地域・企業健診センター
- 取得資格：保健師、看護師
- 2018年度 看護学部看護学科卒業



友人、先生、母がいたからこそ、乗り越えられたと実感

国家試験勉強の主な拠点を大学に決め、人の目がある場所で毎日勉強をしました。コツコツと努力する事が苦手だったため、努力家な友人と一緒に勉強をして、会話を通して知識の定着や試験の情報を得ていました。試験直前は拠点を自宅に変えて、体調管理に最も比重を置き、十分な睡眠と入浴はどんな日も大切にしました。共に頑張れる友人、相談できる先生、私を思いながら仕送りしてくれた母がいたからこそ、乗り越えられたと実感しています。どんなに頑張っているも受験生は不安を抱えていると思います。静かに私を信じて見守ってくれた母には本当に感謝をしています。

こたに ちえ
小谷 知愛さん

- 勤務先：社会医療法人駿甲会
 コミュニティーホスピタル甲賀病院
- 取得資格：社会福祉士、介護福祉士
- 2018年度 社会福祉学部介護福祉学科卒業



不安なときに相談に乗ってくださった先生方や友人には感謝

4年次にゼミの先生より国家試験当日に「これだけ持っていく」という1冊のファイルを作るというアドバイスをいただき、参考資料を印刷し必要な情報を付け足していました。朝から晩まで大学の演習室や図書室で勉強し、時にはゼミの仲間とわからないところを教え合い、知識を深めていきました。不安なときに相談に乗ってくださった先生方や友人にはとても感謝しています。また私は一人暮らしをしていましたが、合格を信じてくれて陰ながら応援してくれた家族の存在もとても励みになりました。現在はチーム医療の一員として、楽しく切磋琢磨しながら働いています。

なかだ るり
中田 瑠さん

- 勤務先：学校法人常葉大学
 常葉大学リハビリテーション病院
- 取得資格：言語聴覚士
- 2015年度 リハビリテーション学部言語聴覚学科卒業



地域連携推進センター通信

地域連携推進センターへリニューアル ～教育・研究・実践の発展を目指して～

本学は、2018年に浜松市との間で「包括連携協定」を締結し、積極的に地域貢献を推進してきました。これまでの「保健福祉実践開発研究センター」の歴史と取り組みを振り返り、その上で、さらなる発展を目指すため、2019年4月より「地域連携推進センター」に名称変更いたしました。

従来から取り組んできました自治体からの委員受託、保健医療福祉機関等への人材育成支援(出前講座など)、「地域連携事業研究費」分配による研究推進に加え、1)「聖隷クリストファー大学オープンカレッジ」開講や、2)「浜松市と大学との連携事業～大学生による講座」の展開により、市民の皆様へ保健医療福祉に関する学びの場や情報を提供していきます。また、3)「東京パラリンピック応援プロジェクト ボッチャ体験コーナー」の実施、4)東京2020ブラジルホストタウン推進浜松市民会議や、オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業への参加・協力により、共生社会の推進に取り組めます。これらの活動を通し、教育・研究・実践の連携モデルの構築を目指して参ります。

2019年度 オープンカレッジ

“我が事”意識に基づく地域共生社会構築に向けて

10月5日実施

本講座は一般社団法人静岡県社会福祉士会(西部支部)との共催により実施しました。日本福祉大学副学長 原田正樹氏による基調講演では、地域共生社会について歴史的背景や政策等についてお話をいただきました。

また、本学社会福祉学部の佐藤順子教授のコーディネートにより、三方原地区社会福祉協議会会長の小倉一夫氏、地域包括支援センター三方原所長の澤本友子氏、浜松市社会福祉協議会北地区センター長の金森徳之氏によるシンポジウムが行われ、浜松市三方原地域における地域共生社会構築の現状と課題について実践の報告がなされました。



「最期まで、自分らしく生きる」とは

11月9日実施

聖隷三方原病院ホスピス科部長の井上聡氏を講師にお招きし、がん緩和ケアやアドバンス・ケア・プランニング、ホスピスでの生活の様子などについてお話いただきました。

参加者からは「人生の最期の選択肢としてホスピスを知ることができてよかった」、「がんに対する過度な不安や心配が解消された」という感想をいただきました。



地域連携事業研究報告会・東京パラリンピック応援プロジェクト

11月2日実施

本学教員が2018年度に実施した地域連携事業研究(地域の保健医療福祉の実践現場と共同で行う研究・事業)の報告会を聖灯祭・ホームカミングデーと同日に開催しました。報告会はポスター発表形式で行い、本学の教職員のほか、在学生・卒業生・一般の方にお越しいただきました。

また昨年度に引き続き、東京パラリンピック応援企画として、ボッチャ体験コーナーを設置しました。多くの方に来場いただき、年齢や障がいの有無に関係なく一緒にボッチャを楽しんでいました。



浜松市との連携事業

本学は、浜松市が企画・推進する事業「浜松市と大学との連携事業～大学生による講座」に参加しています。本事業は、市民と大学生が生涯学習を通じて自分の成長や能力の向上を図る学習活動(生涯学習)を推進し、その学びの成果を地域づくりにつなげていくことが目的となっています。本学は2017年度より当連携事業に参加しており、今年度は下記の9講座22回を実施中です。

講座名	対象	担当学科	会場
Let's enjoy English!	幼児～小学生	全学科(英語サークル)	中瀬協働センター
音楽でつなごう友達の輪	幼児～小学生	全学科(音楽サークル)	南陽協働センター
おにいちゃん、おねえちゃんになるための赤ちゃんのお世話講座	親子	看護学科	南部協働センター
寝たきりを予防する!	高齢者	看護学科	蒲協働センター、和地協働センター
お母さんのお腹の中をそっとのぞいてみよう	親子	助産学専攻科	細江図書館、二俣協働センター
アロマのハンドマッサージ	どなたでも	介護福祉学科	佐鳴台協働センター、高台協働センター 三方原協働センター、細江図書館
自分の身体能力や運動能力を調べてみよう! ～体の仕組みについて～	小学生	理学療法学科	北浜小学校、北浜南小学校
脳トレや体操に取り組んで心も体も元気に! ～健康寿命を延ばすには～	高齢者	理学療法学科	積志協働センター、引佐協働センター 二俣協働センター、浦川協働センター
認知症予防“海馬を鍛えよう!”	どなたでも	作業療法学科	曳馬協働センター、竜川ふれあいセンター 城西ふれあいセンター、佐久間協働センター 水窪協働センター

お母さんのお腹の中を そっとのぞいてみよう!

助産学専攻科の学生が講師となり、小学校低学年とご家族を対象に、お母さんのお腹の中で子どもたちがどうやって育ったのかをお話しました。ロープくぐりゲームに始まり、子宮の中を再現したDVDの視聴、妊婦体験、赤ちゃん人形の抱っこ体験をしながら、お母さんに我が子の出産時のことを語ってもらい、お互いがかけがえのない存在であることを確認し合えた時間となりました。学生は教えることの楽しさを感じ、達成感を得ることができました。



音楽でつなごう友達の輪

音楽サークル「ピアチエーレ」の学生が講師となり、幼児から小学生を対象に音楽会を開催しました。学生たちは、森の動物になりきって手遊び、合唱、音楽劇を行いました。劇の途中で子どもたちと一緒に小太鼓や鈴を作り、一緒にリズム打ちをするなどして参加者一体型の演奏会で盛り上がりました。演奏会後は、ハロウィンパーティーを開催し、様々な衣装に扮した子どもたちと学生と一緒に触れ合い、和やかに、笑いあいの心豊かな時間が流れました。



認知症予防 “海馬を鍛えよう!”

作業療法学科1～4年次生が講師となり、認知症予防について地域の方々に講座を実施しました。講座は座学と実技を組み合わせで行うもので、普段の生活に取り入れることができる内容になっています。受講者の方からは「孫の世代が来てくれるのは嬉しい」、「楽しく学べる」と高評価で、分かりやすく伝えるための工夫なども学生へ助言してただけです。そのため、学生自身が主体的に学ぶことで、講座内容が充実することはもちろんのこと、著しい学生の成長をみることもできました。



地域共生社会が求められる時代における 「住民主体の地域福祉」実践者の育成

社会福祉学部介護福祉学科長・教授 さとう じゅんこ 佐藤 順子

【プロフィール】 静岡市社会福祉協議会でコミュニティワーカーとして15年勤務後、同志社大学大学院にて修士号(社会福祉学)取得。聖隷介護福祉専門学校、聖隷学園浜松衛生短期大学、聖隷クリストファー看護大学を経て2002年社会福祉学部創設時より現職。

■最終学歴：日本福祉大学大学院福祉社会開発研究科博士後期課程満期退学



——先生の学びのきっかけと専門分野について 教えてください

社会福祉学の中でも専門とする分野は「地域福祉」です。この領域を選択したのは、大学時代の4年間、ボランティア活動に没頭する中で、市民がボランティア活動を通して社会福祉の問題と直接関わることの重要性を認識したこと、学部2年次の専門ゼミで生涯の恩師と出会い、地域を実践フィールドとして住民主体の福祉のまちづくりを推進する点に強く心惹かれたことによります。

——大学院ではどのような学びができますか

社会福祉学研究科では原理領域を担当しています。地域共生社会構築がこれからの社会福祉のあり方として政策提起される中、社会福祉協議会や地域包括支援センター、その他地域貢献が義務化された社会福祉法人がこの課題にどのように取り組むべきか、またワーカーの役割、方法論は何かなどについて、院生と共に研究を深めたいと考えています。

2019年10月、オープンカレッジにて
シンポジウムのコーディネーターを担当(左:佐藤先生)

——現在取り組まれている研究や活動について 教えてください

日常生活圏において地域福祉活動を推進することを目的とした住民自身による組織として「地区社協」というものがあり、小地域の福祉に関する協議、福祉活動の実施及び創設支援、要援護者への個別支援の調整などの機能を果たしています。近年の地域福祉政策が地区社協に対する期待を表明する中、今年度より科研費を獲得し、地区社協の主体的力量向上のための諸条件は何か、その整備上の課題は何か、市町村社協職員によるコミュニティワークはどのような点に着目し、どういう支援を展開すべきか、を明らかにすることを目指し研究に取り組んでいます。



ふじのくに地域・大学コンソーシアム ゼミ学生等 地域貢献推進事業

静岡県内の自治体が抱える課題に対して、大学(学生)が地域と一体となり、解決方策の提言や課題解決のための実践的な研究などを行う「ゼミ学生等地域貢献推進事業」に、今年度はリハビリテーション学部理学療法学科の矢倉千昭教授ゼミが採択されました。

富士市の課題「富士市における効果的な肥満対策」について取り組んでいます。

9月初旬から10月初旬まで、富士市において、ゼミ学生による高齢者向けに肥満予防を目的とした健康づくりセミナーを開催しました。本セミナーは2回で構成され、第1回目は3会場で



矢倉千昭教授(左)とゼミ学生

研究助成

2019年度 科学研究費助成事業 新規採択結果

学部など	領域・学科	職位	研究代表者	研究種目	研究課題
看護学部	基礎看護学	准教授	佐久間佐織	基盤(C)	看護師の経鼻吸引技術向上のためのシミュレーションラーニングシステムの構築
	成人看護学	准教授	藤浪千種	若手	前立腺全摘除術後患者のための尿失禁回復支援プログラム
		助教	乾友紀	若手	人工呼吸器患者におけるVAP予防のための梨状窩吸引による有効性の検証
	母性看護学	助教	村松美恵	基盤(C)	健康自己管理に向けた保健師による産後ケアの一環としての健康支援プログラムの開発
	精神看護学	准教授	小平朋江	基盤(C)	統合失調症当事者の自己開示・自己発見・リカバリー:ナラティブの質的量的分析
	在宅看護学	教授	酒井昌子	基盤(C)	高齢心不全患者の望む生活と最期を支える訪問看護師の判断と実践の明確化
	養護	教授	長峰伸治	基盤(C)	養護教諭の相互調整スキルの質的検討と養成段階での育成プログラムの開発
教養・専門基礎	助教	渥美陽子	基盤(C)	英語イメージ校におけるデジタルポートフォリオを用いた家庭学習支援ツールの開発	
社会福祉学部	社会福祉学科	教授	佐藤順子	基盤(C)	地区社協の主体的力量向上のためのコミュニティワーカーの支援モデルに関する研究
	介護福祉学科	教授	野田由佳里	基盤(C)	介護老人福祉施設の見守り機器導入と夜勤従事者のタスクシェアリング(働き方改革)
リハビリテーション学部	理学療法学科	教授	大城昌平	基盤(C)	低出生体重児の成長発達と親の育児および支援者教育の好循環システムの構築
		教授	吉本好延	基盤(C)	地域在住要介護高齢者の多角的視点による新たな転倒予測指標の開発
	准教授	俵祐一	若手	呼吸筋の強化による誤嚥性肺炎を予防する新しい戦略とその評価法の確立	
	作業療法学科	准教授	泉良太	基盤(C)	リハビリテーション医療における医療経済評価の基盤づくり
言語聴覚学科	教授	佐藤順子	基盤(C)	ポジティブ心理学による認知症患者の介護者の特性解明と新たな介入方法の効果検証	
臨床教授等	臨床准教授	三崎太郎	基盤(C)	IgA腎症患者の口腔検体と腎生検・摘出扁桃検体の歯科-腎臓内科による学際的検討	
	臨床講師	久保裕介	若手	人工膝関節全置換術後の虚血再灌流障害に対する術前4週間の血流制限下運動の効果検証	

科学研究費の研究種目

基盤研究 1人又は複数の研究者が共同して行う独創的・先駆的な研究(期間3~5年) 応募額によりA・B・Cに区分
(A)2,000万円以上5,000万円以下(B)500万円以上2,000万円以下(C)500万円以下

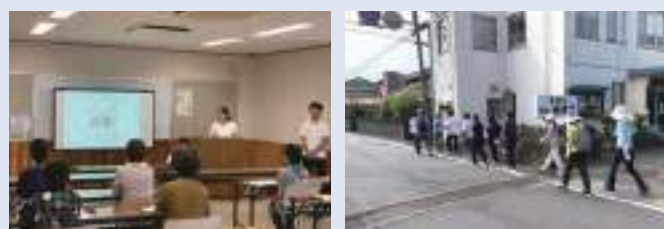
若手研究 39歳以下の研究者が1人で行なう研究(期間2~4年) 応募額によりA・Bに区分
(A)500万円以上3,000万円以下(B)500万円以下

2019年度 学外助成金 新規採択結果(科学研究費以外)

学部	領域・学科	職位	研究代表者	助成制度名称	研究課題
看護	成人看護学	教授	本田彰子	聖隷浜松病院看護部研究助成金	筋萎縮性側索硬化症を抱える患者の意思決定支援の在り方の検討
看護	成人看護学	准教授	藤浪千種	聖隷浜松病院看護部研究助成金	地域がん診療連携拠点病院におけるがんと診断されたときの患者に対する苦痛のスクリーニングとその対応の実態調査

計26名が参加、日常生活での身体活動の調査と肥満予防のための身体活動と食行動について講義をしました。

第2回目は2週間後に開催し、同会場にて計25名が参加、前回調査した結果のフィードバックと会場周辺の史跡を巡るコースでゼミ学生と一緒にウォーキングを楽しみました。また調査結果から、参加者の座位行動時間が長いことが明らかとなりました。



今後、富士市の肥満予防に活かせるよう、地方紙への掲載、保健指導用のチラシ作成を行う予定です。ゼミ活動の成果は2020年2月、「ふじのくに地域・大学フォーラム」にて発表します。

ゼミ学生の声 理学療法学科4年次生 しもむら はるな 下村 遥奈さん

富士市在住の方々を対象に健康づくりセミナーを企画・開催しました。参加した皆様の反応を直に感じることができ、とても新鮮でした。また、富士市役所の保健師や栄養士の方々の支援を受けながらセミナーを行うという、普段の学生生活ではできない貴重な経験をさせていただきました。これからも地域住民の方に貢献できる理学療法士を目指して励んでいきたいと思っております。

日常図鑑

勉強、食事、バイト、オフタイム…。クリストファー生たちはどのような大学生活を送っているのでしょうか？

- ①どんな勉強してる？ ②サークル活動はしてる？ ③どんなバイトしてる？
④昼食はどうしてる？ ⑤休日の過ごし方は？

おおもり あやか

大森 彩花さん

こども教育福祉学科4年次生
一人暮らし／自転車通学



①ゼミ活動で、県外の施設に見学へ行きました。実際の現場は学ぶことが沢山ありました。



③1年次生の頃から学習支援と飲食店でのバイトを続けています。どちらも貴重な経験になっています。



④お弁当を作りましたが、最近は栄養満点で美味しい学食がお気に入りです！



⑤勉強を頑張るための楽しみの一つとして、遠出をしたり、趣味の時間に費やしたり充実しています。



勉強にアルバイトに興味に、
楽しく充実した大学生活です。



ほしが ひなこ

星賀 日菜子さん
看護学科4年次生
自宅生／バス通学



①参考書や教科書、授業資料で国家試験の勉強をしています。友達と教え合うことも多いです。



③長期休暇中に小学校の児童会でバイトをしています。個性豊かな子どもたちと過ごす時間が楽しいです。



④お弁当を持っていき、空き教室や授業のある教室で食べています。



⑤国家試験の勉強の合間に、友達と遊びに行ったり自宅の猫と遊んだり息抜きをしています。

専門的な勉強が増えてきましたが、
サークルや遊びも楽しんでいきます。

友達や猫と遊んだりしながら
国家試験に向けて勉強しています。

いむらしんや

井村 信哉さん

作業療法学科2年次生
自宅生／原付バイク通学



①作業療法の専門的な勉強が増えてきて、実技の練習なども始まりました。



②バスケットボールサークルに所属し、毎週木曜日にバスケットを楽しんでいます。写真は新入生歓迎会。



④基本的にはお弁当ですが、時間があると友人と外に食べに出かけます。



⑤地元の友人や大学の友人と遊んで過ごします。たまに遠出をしたりします。



聖隷学園だより

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

9月26日、お相撲さんとの交流会

昨年度の交流会以降、翠富士が場所ごとに番付表を送ってくださり、子どもたちと一緒に応援をしてきました。4、5歳児は今年もまた翠富士と輝富士に会えることが楽しみで、交流会の企画を皆で考えました。特に一緒に食べた昼食が印象に残っており、「今年は何を食べようか?」と話し合う中、お相撲さんの身体を気遣って様々なメニューが提案されました。

当日、園のキッチンスタッフや保護者ボランティアの方々にも協力していただき、

“特大ギョーザ”を振る舞いました。かなりの大きさの餃子をモリモリと食する翠富士と輝富士を見ながら、子どもたちは大喜びでした。園庭で行った交流会では、



足の裏でしっかりと土俵を踏みしめ、力いっぱい翠富士に向かっていく子どもたち。翠富士と輝富士による技の実演も迫力満点で歓声が上がりました。とうとうお別れのとき。子どもたちは名残惜しく玄関まで見送りに集まり、歌を歌ってお二人にさよならをしました。



10月5日、プレイデー

こども園のプレイデーは、勝ち負けを競うという結果を重視する運動会とは異なり、体を動かす遊びを通して共に育ち合い、それを喜ぶことを目標としています。また、テーマを「Why?」「What do you think?」とし、子どもたち自身で考え行動するということを大事にしました。社会福祉学部こども教育福祉学科2年次生の学生たちも

サポート役で参加しました。学生たちは事前にオリエンテーションを受け、テーマを意識した関わり方に心掛け、学生自らも主体的に行動することを目的として臨みました。天候にも恵まれ、中・高等学校のソフト



ボール場で子どもたちは思いっきり走ることができました。

聖隷クリストファー中・高等学校

運動部・文化部ともに躍進中です

今夏は、5部活が全国大会に出場しました。運動部は、男子バレー部が高校総体で予選グループを突破し、決勝トーナメントへ進出(全国ベスト16)。加えて、2名の部員が「全日本ビーチバレージュニア選手権大会」に出場し、決勝トーナメント(2回戦)に進出しました。全国大会常連の少林寺拳法部も高校総体(女子組演武が第4位入賞)と中学生全国大会に出場。また普段は個人で活動している高校2年の鈴木颯斗くんが聖隷の名を背負って、沖縄での高校総体自転車競技ロードレース部門に出場しました。

文化部は、放送部がNHK杯全国高校放送コンテストに2部門で県代表として出場し、テレビドキュメント部門で全国

511作品中上位20作品に選ばれました。かるた部も着々と力をつけ、小倉百人一首競技かるた全国高等学校選手権大会に3名が出場しました。

秋になり、部活動の中心は高校2年生へと移り、各部で新人戦の音が聞かれるようになりました。その中で男子バレー部は「春高バレー」出場をかけた、3年生が最後の戦いに挑みましたが、県大会決勝で惜敗しました。野球部は新チームが秋季高校野球県大会でベスト4に入り、今後への期待を繋ぎました。

生徒たちは一人ひとりが各々の舞台上で青春のエネルギーを沸かせています。学園内外の皆様の物心にわたる応援を、心より感謝申し上げます。



バレー部



放送部

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校



授業の中で特に
自立支援に強く興味を
惹かれています

2年次生 まつお とも
松尾 智さん

社会人経験を経て専門学校に入学しています。クラスメイトの友人とは、ひとまわりほど年齢が違う中でも楽しく学校生活を送れています。授業はとてもわかりやすく、基本的な技術のほか、テキストにはない知識や介護福祉士としての心構えなど、内容も充実しており楽しく受講できています。多くを学ぶ授業の中で特に自立支援に強く興味を惹かれており、介護福祉士として利用者の望む生活を実現できる知識と技術を身につけるべく、残りの学生生活、就職後も勉強を続け自己を高めていきたいと思っています。



自分自身の意見を持つ
大切さを学んでいます
目標は国家試験合格

2年次生 みずたに あずさ
水谷 梓さん

高校を卒業後に専門学校に入学しています。この専門学校で学んだことは、介護の専門的な知識はもちろんのこと、自分自身の意見を持つ大切さです。授業では、1人の利用者に対して自分の考えをグループワークのメンバーに伝え、発表することが多くあります。これは今後、介護福祉士という専門職として従事していく中で多職種連携や、何より支援内容を利用者の方々にお伝えしていくためにも必要になってくると思います。さらに、私自身の今後の大きな目標は、介護福祉士の国家試験に合格することです。あまり勉強は得意ではありませんが、正しい知識を持って働くために努力していきたいと思っています。

就 活 体 験 記

家族や先生に考えを真剣に聞いてもらい、アドバイスを
いただくことで、自分に合う就職先を決められた

もりかみ しおり
2年次生 森上 栞さん 内定先／社会福祉法人十字の園
浜松十字の園(介護職)

私は、1年次の第2実習が終了した3月頃より本格的に就職活動を始めました。学校で開催された施設説明会に参加して興味をもった施設、実習先、アルバイト先などを含め数施設の個別相談会に参加しました。就職活動を進めていくと、これから介護福祉士として働くイメージを抱きながらも不安や戸惑いを感じることもありました。そのときは、家族や学校の先生に自身の考えを真剣に聞いてもらうこと、アドバイスをもらうことで、前向きな気持ちを維持しながら就職先を決定することができたと振り返ります。このように私は、自身のペースで説明・個別・施設見学と就職活動を進めることによって自分に合う施設種別や雰囲気である就職先を見つけることができました。



就職・進学支援 就職・進学支援プログラムの予定や活動状況の詳細は、キャリア支援センターホームページをご覧ください。

速報

2019年度卒業・修了予定者の内定状況

2019年度に卒業する学生のうち、就職希望者は14名で、内定が決まった学生は12名、内定率は85.7%です。その他、4名の学生が、学园内推薦編入学制度により、聖隷クリストファー大学社会福祉学部への3年次編入学が決定しています。

(2019年11月29日時点)

卒業 予定者数 (名)	大学 進学者数 (名)	就職 希望者数 (名)	就職 内定者数 (名)	就職 内定率 (%)
19	4	14	12	85.7

就職・進学支援プログラムについて

専門学校は入学から就職活動開始までの期間が短いことから、1年次生の5月から就職などに関する支援プログラムを実施しています。

1年次生

2019年5月	社会人になるための基礎講座
	社会人マナー講座
	スーツ着こなし講座
	メイクアップ講座(女性のみ)
10月	2年次生による就職活動報告会
11月	卒業生と在学生との懇談会
12月	履歴書の書き方、面接の受け方講座
	聖隷クリストファー大学社会福祉学部への編入学説明会
2020年3月	福祉系の法人・施設などを招いての説明会



お知らせ

専門学校に届く求人票の情報は、キャリア支援センターのホームページのほか、登録者に対して配信される「求人情報配信システム」によりお知らせしています。保護者の皆様もご登録いただくことができますので、情報提供を希望される方は、WEBキャリア支援センター(<https://www.seirei.ac.jp/webcareer/>)の「求人情報配信システムへ登録」からご登録ください。

2年次生

内定をいただいた2年次生を対象とし、2月に「就職内定後の心構え、社会人としての心構え」のプログラムを実施しています。

お問い合わせ先

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 キャリア支援センター

TEL:053-436-7233 FAX:053-437-6782 E-mail:career@seirei.ac.jp <https://blg.seirei.ac.jp/ssk/>

スポーツ・レクリエーション大会2019

7月18日、専門学校1年次生と社会福祉学部介護福祉学科生合同のスポーツ・レクリエーション大会が開催されました。同じ介護福祉を学ぶ学生同士、スポーツなどを通して交流できるよう7名の学生実行委員が昼休みの時間を使い準備を進め、当日の運営も担いま

した。

スポーツが苦手な人も参加できるようにプログラムの工夫をし、全員が楽しく身体を動かすことができました。幼馴染や同じ出身校の友人と再会したり、同級生や先輩と交流したりと、笑顔あふれる会となりました。



事例研究発表会

8月7日、専門学校2年次生による事例研究発表会を開催しました。介護実習でご指導いただいた実習指導者の方々をはじめ、社会福祉学部介護福祉学科の教員、専門学校1年次生に聴講いただきました。

学生最後の実習である介護実習Ⅲの事例に対し、文献や先行研究に触れ

ながら事例研究としてまとめることで新たな知見が得られました。

また、当日の司会、運営も2年次生で役割分担を行い、実習指導者の方々のご指導もいただき、質疑応答も活発に行われ、2年間の集大成とする発表を行うことができました。



介護実習Ⅰ実習報告会

1年次生は、入学まもなくして介護実習Ⅰに臨み、その実習体験の共有・学びを深め広げる場として10月10日に介護実習Ⅰ実習報告会を開催しました。

当日は、介護実習でご指導いただいた実習指導者の方々をはじめ、社会

福祉学部介護福祉学科の教員、専門学校2年次生にも参加していただきました。

初めての介護実習を終え、介護実習Ⅰ実習報告会と緊張しながらも、立派に発表する姿が印象的でした。



授業紹介

【コミュニケーション技術Ⅱ】

介護を必要とする利用者の理解とともに言語的・非言語的コミュニケーションの重要性について理解し、点字や手話の学習を行いながら様々なコミュニケーション機能の障害を抱える利用者の状態や状況に応じたコミュニケーション技術の習得を目指す科目です。



【認知症の理解Ⅰ】

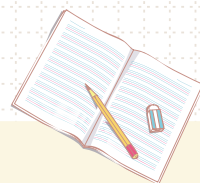
認知症に関する基礎的知識を修得するとともに、認知症に伴うこころとからだの変化や認知症人の特性を理解し、本人のみならず家族を含めた周囲の環境にも配慮した介護の視点を修得する科目です。



Life Data

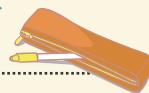
PICK UP
一人暮らし

1年次生
にしざわ かえで
西澤 楓さん



STUDENT VOICE

切磋琢磨しながら毎日楽しく
友人と学校生活を送っています



専門学校に入学し、親元を離れ生活をしています。学校やアルバイトと家事の両立は少し大変だと思うことはありますが、切磋琢磨しながら毎日楽しく友人と学校生活を送っています。

技術だけでなく介護の知識も身につけられるよう、覚えることはたくさんですが、復習するようにし覚える努力をしています。

休日は月に1~2回ほど実家に帰省し、インコと遊んだりお菓子を作ったりして気分転換を図っています。実家へ帰るととても安心します。またバンドのライブにも行ったりして、自分の好きな時間も大切にしています。

卒業後は、利用者や利用者の家族からも頼られるような介護福祉士になりたいと思っています。



🕒 08:30 朝の礼拝



朝は毎日礼拝を行っています。礼拝係なので司会進行をしています。

🕒 12:00 昼食



友人と一緒に楽しく昼食を食べています。自分で作ったお弁当を持参しています。

🕒 14:30 午後の授業



音楽心理学では、自分の好きな音楽を発表します。みんなで歌い楽しく学んでいます。

CAMPUS LIFE
PHOTO
LIBRARY



後援会から

2019年度保護者懇談会を開催しました

保護者懇談会は、保護者の皆様と大学・専門学校とのコミュニケーションを深める場として、後援会の協力のもと開催されています。保護者の皆様キャンパスにお越しいただき、教育環境や教育の現状、目的、課題などを知ってもらうとともに、学業、学生生活、就職、健康面などの疑問・不安などを解消していただく機会としています。2019年度は下記の日程で開催し、大変多くの保護者の皆様にご参加いただきました。心より御礼申し上げます。次年度の保護者懇談会の日程は、決定次第ホームページにてお知らせします。今年度ご参加できなかった皆様も是非ご参加いただければ幸いです。



全体説明会



教員紹介



昼食懇談会



実習室見学

■今年度の開催状況

開催日	学部など	参加者数	
6月 1日(土)	介護福祉専門学校	18組	20名
7月 6日(土)	社会福祉学部	社会福祉学科	40組 50名
		介護福祉学科	18組 23名
		こども教育福祉学科	35組 42名
10月19日(土)	リハビリテーション学部	理学療法学科	66組 86名
		作業療法学科	63組 76名
		言語聴覚学科	48組 66名
10月26日(土)	看護学部	看護学科	179組 217名

プログラム

学科・学年別などによる説明会・懇談会

昼食

個別相談・学内(実習室など)見学

※「説明会・懇談会」の形式や見学でご案内する実習室は学部などにより異なります。

保護者の皆様へのお知らせ

保護者満足度調査アンケートご協力をお願い

12月に、後援会より保護者様宅へ「保護者満足度調査アンケート用紙」をお送りします。大学・専門学校の改善・改革につなげるため、是非回答にご協力くださいますようお願いいたします。郵便による締切は1月10日(金)、インターネットによる回答の締切は1月13日(月)です。大学1号館1階総務部前にも回収BOXを設けます。本調査は無記名アンケートにて実施いたしますので、率直なご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

2019年度卒業式・修了式および進就職パーティは3月12日(木)に行います

「2019年度卒業式・修了式」は、アクティシティ浜松中ホールにて、「進就職パーティ」は、グランドホテル浜松にて、2020年3月12日(木)に行います。

卒業年次生の保護者の皆様には、追ってご案内状をお送りします。多くの保護者の皆様のご出席をお待ちしています。



卒業式



進就職パーティ

お知らせ

高等教育の修学支援新制度の 対象校となりました

「大学等における修学の支援に関する法律」が2019年5月10日に成立したことを受け、「高等教育の修学支援新制度」が2020年度より開始されます。この新制度は、機関要件を満たす教育機関に在籍し、支援対象の要件を満たす学生に対し、「授業料等の減免」と「給付型奨学金の支給」を行う新たな経済的支援制度です。大学、専門学校ともに機関要件を満たす教育機関として認められ、新制度の対象校となりました。制度の詳細につきましては、下記ホームページをご覧ください。

文部科学省



日本学生支援機構



宮前珠子先生に名誉教授の称号が 授与されました

宮前珠子先生は、2004年の本学リハビリテーション学部の開設以来15年間にわたりご尽力くださいました。学部・学科の基礎を築かれ、また作業療法学専攻長、リハビリテーション科学研究科長の役職を歴任し、学部教育に留まらずリハビリテーション科学に関する研究と高度専門職者の育成に情熱を注がれました。名誉教授の称号は教育上、学術上または管理運営上特に顕著な功績のあった方へ授与するものです。10月16日、大城昌平学長から名誉教授の称号記が手渡され、長年に渡る本学への貢献に対し感謝の言葉が述べられました。



学生リクエストによる学食新メニューが 発売されています

本学では、より満足度の高い食堂運営を目指し、定期的に在学生の意見を伺う機会を設けています。2019年9～10月、「在学生対象学食アンケート」を実施し、283件もの回答が寄せられました。いただいた沢山の意見・リクエストを参考に、食堂運営業者(株)日京クリエイトが検討を重ね、12月より「学生リクエストメニュー」として続々と新メニューの発売を開始しています。

《学生リクエストメニューの一例》※写真はイメージです



パエリア



明太子クリームパスタ



ガバオライス



台湾ラーメン

新任教員の紹介

- ①出身校 ②前任校・前勤務先
- ③専門分野 ④メッセージ

看護学部(成人看護学)

てらだ こうすけ

寺田 康祐 助手

①聖隷クリストファー大学看護学部看護学科②聖隷三方原病院③成人看護学(急性期)④母校で皆さんと学べることを嬉しく思います。多くの知識・技術を積み重ねていけるよう、共に頑張っていきます。どうぞよろしくお願ひします。



2019年度 国家試験日程

	試験日	合格発表日
看護師	2020年 2/16(日)	2020年 3/19(木)
保健師	2020年 2/14(金)	2020年 3/19(木)
助産師	2020年 2/13(木)	2020年 3/19(木)
社会福祉士	2020年 2/ 2(日)	2020年 3/13(金)
精神保健福祉士	2020年 2/ 1(土) 2/ 2(日)	2020年 3/13(金)
介護福祉士	2020年 1/26(日)	2020年 3/25(水)
理学療法士 作業療法士	2020年 2/23(日)	2020年 3/23(月)
言語聴覚士	2020年 2/15(土)	2020年 3/26(木)

学報へのご意見・ご感想をお寄せください

読者の皆様のご意見を参考に、より充実した内容をお届けできればと考えています。

ご協力お願い申し上げます。

→<https://blg.seirei.ac.jp/d/>
携帯電話からもアクセスできます



2020年4月にいよいよ聖隷クリストファー小学校が開校します。本小学校はキリスト教精神に基づく隣人愛を基盤に、英語イマージョン教育・探究型の学びを実践し、グローバル社会で活躍する人材を育成します。今後、聖隷学園ではこども園から小・中・高等学校、専門学校、大学、大学院博士後期課程まで連携した英語教育を展開し、一貫したグローバル化の構築を推進する計画です。

小学校の概要

- 1) 開 校 2020年4月
- 2) 場 所 聖隷クリストファー中・高等学校校舎
南側に新校舎(4階建て)建築
- 3) 入学定員 1学年60名(2学級×30名)
2020年度は1、3、5年生を募集
- 4) 収容定員 360名
- 5) 学級担任 担任2人制(日本人1名、外国人1名)



2019年12月末に校舎完成(手前が小学校)
写真は11月初旬の様子

◆聖隷クリストファー小学校の特徴

英語イマージョン教育

イマージョンは「浸る」という意味です。英語を学ぶことが目的ではなく、英語「で」学ぶことで知識を習得します。多国籍の教員による英語環境で、子どもたちの高い適応能力で自然に英語になじんでいきます。国語、社会、家庭科の一部を除き、授業は英語で行う予定です。

探究型学習

従来の学校教育に捉われない、児童の学ぶ力を引き出す教育=探究型学習を行います。
1学級30名に対し、2名の教員(日本人教員・外国人教員)を配置し、多国籍の教員の異なる文化、習慣、価値観に触れながら、主体的な探究型学習に取り組んでいきます。

2021年度は1～6年生を募集します。次回説明会は2月8日(土)に実施予定です。→
最新情報は小学校ホームページをご覧ください。



✈✈✈✈ 聖隷クリストファー大学 国際交流レポート ✈✈✈✈

国際交流イベント～本学留学生との交流～

本学では、学生の皆さんに異文化や海外研修などに興味・関心を高めてもらうこと、また、日本にいながらも国際交流活動に参加できる場を提供することを目的として、国際交流イベントを開催しています。年5回のイベントでは、異文化体験、本学留学生との交流、海外研修参加者との座談会等を計画し、他学部・他学年の学生との交流の場もなっています。

現在、聖隷クリストファー大学大学院に4名、聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校に4名の留学生が在学しています。学生の出身国は、タイ、中国、ベトナム、ミャンマーです。2019年1月には、杵と臼を使った本格的な餅つきで交流

をしました。留学生は初めて自分でついた餅の美味しさに感動していました。また、本学の学生は、留学生の出身国の新年の文化を聞いたり、言語を教えてもらったりして、留学生との交流を楽しむ様子が見られました。

2019年7月には、本場中国の餃子づくりが体験できる「中国文化体験」を開催しました。リハビリテーション学部の顧寿智教授が講師を務め、留学生の協力も得ながら、本場の水餃子を美味しく作るコツを教えてくださいました。中国からの留学生、ヤン・ホンさん(リハビリテーション科学研究科博士前期課程)からは「楽しくて、学生とたくさん交流もできました。最高でした!」と感想をいただきました。

